

平成24年度関東高等学校バスケットボール大会千葉県予選会 最終日スコア・戦評

Game	種別	対戦チーム	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	
A1	女子	準決勝	A 昭和学院	26	14	24	23		87
			B 千葉経済大附	13	18	15	19		65
両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。高さで上回る昭和はインサイドで着実に加点するのに対し、足を使った攻撃で食らいつく千経大附。前半9点差で折り返す。後半もゴール下を支配する昭和はセンターに加えガード陣も機能し始めさらに加点。終始ゲームをコントロールした昭和が千経大附の追撃を退け完勝した。									
B1	女子	順位決定戦	A 千葉南	9	16	14	13		52
			B 幕張総合	21	21	22	24		88
前半、幕張総合はオールコートプレスディフェンスを仕掛け千葉南に攻撃リズムを掴ませない。幕張総合は力強いインサイドの攻撃と3Pで着実に得点を重ね42-25で折り返した。後半、千葉南も積極的な1対1を仕掛け、さらにリバウンドシュートでも粘りを見せるが、幕張総合は手堅いディフェンスで守りきり千葉南のつげ気を許さず、88-52で勝利をおさめた。									
C1	女子	準決勝	A 千葉英和	18	15	22	29		84
			B 市立柏	14	17	16	14		61
立ち上がり良いペースで加点する英和を市立柏が追いかける展開。ペースを掴んだ市立柏が2点差まで追い上げたところで前半終了。後半は激しい攻防が続くワンチャンスから一時市立柏がリードする。しかし、終盤集中力とボールへの執着心を見せた英和が市立柏をラスト5分無得点と封じ込め決勝に駒を進めた。									
D1	女子	順位決定戦	A 市立松戸	19	15	18	17		69
			B 市立船橋	16	20	15	22		73
立ち上がり速攻の市立船橋とゴール下リバウンドの市立松戸の攻防。互いにペースを掴んでからは五分の展開。後半も激しいシュート合戦による点の取り合いが続き、勝負は最後までもつれ込んだ。残り10秒1点リードの市船がCTO後、コントロールし、プザービーターで更に加点し、市立松戸を振り切り勝利した。									
A2	男子	準決勝	A 市立柏	26	24	19	12		81
			B 東海大浦安	11	7	16	28		62
両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。3P・ドライブと得点を重ねる市立柏、一方柏のディフェンスを攻めあぐみなかなかペースをつかめない東海大浦安。前半、柏32点リードで折り返す。後半、柏はメンバーを代えながらゲームを進め、東海大浦安はディフェンスを変え流れを変えに行くが、点差は縮まるものの追いつくまでには至らず、市立柏が勝利をおさめた。									
B2	男子	順位決定戦	A 八千代松陰	16	20	29	27		92
			B 国府台	21	24	17	18		80
立ち上がりどちらも中心選手の個人技の応酬。2Qも激しい点の取り合いで一進一退の攻防の末、国府台リードで折り返し。後半、出だしの猛攻で国府台が一時17点のリードを奪うが、八千代松陰も連続3Pで逆転。その後シュートが落ち始めた国府台に対し、勝負強さを見せた立よ松陰はリードを広げ、国府台の必死なディフェンスを振り切り勝利。5位決定戦への駒を進めた。									
C2	男子	準決勝	A 柏日体	14	6	17	10		47
			B 市立船橋	34	25	40	36		135
市立船橋は高さのあるリバウンドからの速攻・インサイド、確率の高い外角シュートで確実に点を重ねていく。対する柏日体は#6、#7らのシュートを中心に反撃を試みるも、市立船橋の堅い守りに阻まれ得点することができず、市船大量リードで前半終了。後半、どちらも全員メンバーを交代する展開となるが、総合力に勝る市立船橋はさらにリードを広げ大勝した。									
D2	男子	順位決定戦	A 八千代	20	15	8	25		68
			B 幕張総合	25	30	21	22		98
アップテンポの展開を好む両チームの戦い。序盤からどちらのチームも早いトランジションから得点を重ねる。2Qに入り、幕張総合は粘り強いディフェンスから速攻を連発し、八千代のディフェンスを粉碎。前半で20点のリードを奪う。後半、八千代はディフェンスを変え打開を図るも幕張総合がうまくゲームをコントロールし、流れは変わらず。幕張総合が5位決定戦への切符を手にした。									

平成24年度関東高等学校バスケットボール大会千葉県予選会 最終日スコア・戦評

A3	女子	決勝	A	昭和学院	29	12	23	25	89
			B	千葉英和	20	10	12	16	58
両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。昭和はインサイドにボールを集め得点するのに対し、英和は5人がバランスよく得点。昭和は途中もたつく場面もあったが、前半を11点リードで折り返し。後半に入ってもインサイド攻めを崩さない昭和は着実に差を広げる。英和はリズムを変えるべくディフェンスを変えるなど試みるが、昭和のリズムは崩れない。最後まであきらめない英和を突き放し89-58で昭和学院が快勝。5年連続の優勝を果たした。									
B3	女子	5位決	A	幕張総合	32	16	11	17	76
			B	市立船橋	23	21	22	19	85
前半幕張はオールコートプレスディフェンスをしかけ、市船はボール運びに苦しみリズムを掴めない中、幕総は1対1やドライブからの合わせ、インサイドで得点を重ね僅かリードで折り返す。後半、市船はディフェンスを粘り強く頑張りリバウンドから速攻で連取し逆転に成功。ミドルシュートも着実に決め市立船橋の勢いが止まらず勝利。関東大会への切符を手にした。									
C3	女子	3位決	A	千葉経済大附	15	19	18	19	71
			B	市立柏	8	18	14	12	52
千葉経済は#4、#7を中心とした攻めで得点を重ね立ち上がり優位にゲームを進める。思うようにシュートが決まらないながらも着いて行く市立柏。8点経済がリードで前半折り返し。後半市立柏は巻き返しを図るが、経済の勢いは止まらず。攻め手を欠く市立柏は4Qにディフェンスを変えて追撃を図るが、冷静にゲームを進めた経済が大量リードを守り勝利した。									
D3	女子	7位決	A	千葉南	17	13	16	22	68
			B	市立松戸	13	21	21	22	77
A4	男子	決勝	A	市立柏	25	18	20	16	79
			B	市立船橋	15	20	18	21	74
立ち上がり市立柏は連続3Pで先行し、スクリーンを使った多様な攻撃で10点リード。2Q、市船は柏の#4を激しくマークし、攻撃では#5を中心にインサイドを攻略、徐々にペースを掴み前半を8点差柏リードで終了。後半、一進一退の攻防が続く終盤へ突入。市船は残り5分で4点差まで追い上げるも市立柏は落ち着いてゲームを進め、新人戦に続き連続優勝を果たした。									
B4	男子	5位決	A	八千代松陰					0
			B	幕張総合					0
幕張総合は#4の1対1を攻撃の起点とするのに対し、八千代松陰は#5#6の内外角幅広い攻撃で応戦。幕総は#6が要所でミドルシュートを決め突き放しにかかる。後半に入り両チームとも1対1を仕掛けるが、個人の能力で勝る幕総がリードを広げる。終始主導権を握り続けた幕総が、残り一つの関東大会出場権を手中におさめた。									
C4	男子	3位決	A	東海大浦安	26	19	11	13	69
			B	柏日体	23	19	20	26	88
3位決定戦は最後まで息詰まる緊迫した試合となる。先手を打ったのは東海大浦安。#12、#17のドライブ、インサイドで確実に点を重ねる。一方日体も#8のドライブ、3Pと攻めの起点としてチームを牽引する。その後、一進一退の攻防が続く。後半、東海はシュートが落ち始め、日体はオフェンスリバウンドを支配。一気に形勢逆転。中盤で柏日体がリードを奪う。終盤まで流れが変わらず。東海はディフェンスで勝負を仕掛けるが柏日体は慌てず対処し、最後は余裕の試合運びで勝利。3位を手中におさめた。									
D4	男子	7位決	A	国府台	11	18	7	8	44
			B	八千代	19	18	25	11	73